

# 地域通貨を通じた地域間交流について

## 別府市とコラボレーション

平成17年7月に全国の5市町(熊本県阿蘇市、千葉県銚子市、島根県雲南市、海士町、大分県別府市)が国から「地域通貨モデル事業」の認定を受け、現在実証実験サービスを行っております。阿蘇市におきましても11月11日より実施実験サービスを開始し、1月末に終了しました。この阿蘇市地域通貨「Grass」サービスは2月以降も引き続き行います。

さて、このように九州では本市と別府市が認定を受けたわけですが、両市は地理的にも歴史的背景にも共通点が多いことからこの地域通貨「阿蘇市：Grass(グラス)別府市：泉都(セント)」を通じ交流を行うことになりました。

### 交流の内容

平成18年2月・3月の2ヶ月間、JR及びJRバスで阿蘇・別府間を利用する市民及び観光客を対象に、両市の観光パンフレットや記念品、両市の地域通貨をJRバスあそゆふ高原バス、別府駅・宮地駅・阿蘇駅で配布します。

これにより、阿蘇市では商店でのおもてなしや割引等、別府市では市営温泉での利用で地域通貨を実体験をしていただき、観光と併せてPRを図ります。

### 今後の展開

この地域通貨を通じた交流の最終目的は、両市の地域通貨(Grass・泉都)に別府市のまちづくり団体が先行実施している「湯路(ユロ)」との地域通貨の三者交流を目指しています。これが実現すると別府市と阿蘇市で相互に地域通貨が利用できるようになります。

これにより各々の通貨の付加価値が高まるとともに、利用できる施設や店舗も大幅に拡大され、利用者の利便性も高まるわけです。その他、経済や芸術・文化面なども視野に入れた広域連携を推進すべく、今回その第1弾としてこの企画を実施するものです。

※阿蘇市の地域通貨「Grass(グラス)」は、市の内外を問わず、阿蘇市のために何かしてくださった方に発行されるものです。

阿蘇えこばす倶楽部事務局  
TEL 221-3253  
(阿蘇市役所情報推進課内)



## 英語・中国語・韓国語で案内サービス

### ～インターネットを使った通訳システムの導入～



外国人観光客から喜びの声!

▲パソコン上に出た通訳者をはさみ韓国観光客(中央)と話すスタッフ

阿蘇地域振興デザインセンターは、2月から、ASO田園空間博物館総合案内所に「マルチリンガルサービス」という在宅通訳者を使った通訳システムを県内で初めて導入しました。国際環境観光都市を目指す本市に強力な助っ人が登場したと関係者から喜びの声が上がっています。

仕組みは、とても簡単で、韓国語であれば、パソコンの画面から韓国語を選択すると、自宅で待機している通訳者が瞬時に現れ、外国人観光客と案内所との会話を通訳してくれるというものです。

システム開発した日立製作所によると、現在全国に60人の在宅通訳者が交代で待機し、対応しているそうです。現在、案内所に設置されたシステムでは、英語、中国語、韓国語の3ヶ国語が利用できます。システム導入の感想を案内所ボランティアスタッフの宿利さんは「今まで外国の方が訪れると気がひけていましたが、今は、阿蘇のいろんな情報を教えることができ、外国人に大変喜ばれ仕事にやりがいが増えました。」と利用効果は上々です。